

しんきん経済研究所トピックス

2019年12月19日

2020年の経営見通し

一般財団法人しんきん経済研究所（理事長 俵山初雄、以下しんきん経済研究所）は、浜松地域の中小企業を対象に行った「2020年の経営見通し」をまとめましたのでご案内します。

1. 調査概要

調査対象 遠州信用金庫、浜松磐田信用金庫の取引先 658 社
調査方法 調査表による面接聴取法
調査時期 2019年12月2日～9日
回収状況 調査数 658 社 回収数 630 社（有効回答率 95.7%）

2. 調査結果（詳細は別添資料をご参照ください）

①2020年の日本の景気 「悪い」と回答した経営者が約6割

2020年の日本の景気をどのように見通しているかをたずねたところ、「良い」と回答した企業は10.8%となり、「悪い」の57.1%を46.3%下回った。昨年調査（2019年の見通し）と比較すると、「良い」が10.0%減少（20.8%→10.8%）し、「悪い」が27.9%増加（29.2%→57.1%）するなど、経営者の見通しは悪化した。

②自社の業況 4割の中小企業が業況悪化を見込む

2020年の自社の業況については、「良い」=11.4%、「普通」=43.8%、「悪い」=44.8%となり、「良い」が「悪い」を33.4%下回った。昨年調査（2019年の見通し）と比較すると、「良い」が11.1%減少（22.5%→11.4%）、「悪い」が19.7%増加（25.1%→44.8%）しており、約4割の企業が業況悪化を見込んでいる。

③売上減少を見込む企業が増加を見込む企業を上回る

自社の売上見通しを2019年と比較すると、「増加する」=28.0%、「変わらない」=38.0%、「減少する」=34.0%となり、「減少する」が「増加する」を6.0%上回った。

④業況改善の見通しが立たない企業が増加

自社の業況が上向き転換点についてたずねたところ、「すでに上向いている」が15.3%あった一方で、「業況改善の見通しは立たない」が31.0%あり、昨年調査（2019年の見通し）と比較すると、4.9%（26.1%→31.0%）増加した。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館5階
しんきん経済研究所 小林
TEL 053-452-1510